

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施。

《担当者名》○木浪 智佳子 西 基 太田 亨(リハ)

【概要】

小児医療・小児保健の実際と今後の課題および子どもに特有な病態・症状・治療に関する基本的知識を系統的に学ぶ。

【学習目標】

1. 小児医療・小児保健の実際と今後の課題を理解し、子どもを取り巻く社会の現状を考えることができる。
2. 子どもに特有な病態・症状・治療に関する基本的知識を理解し、小児看護のあり方について考えることができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 運動器疾患	講義の進め方、課題と評価方法の確認 小児骨折・发育性股関節形成不全・内反足・骨端症・骨肉腫など	木浪 西
2	成長・発達	小児の成長・身体計測・成長の評価・臓器の发育など	西
3	栄養・診察・治療	母乳栄養・人工栄養・誤飲・発熱・脱水症など	西
4	心臓・脈管疾患	胎児循環・心房中隔欠損症・心室中隔欠損症・動脈管開存症・ファロー四徴症など	西
5	悪性腫瘍・血液・造血器疾患	神経芽腫・腎芽腫・肝芽腫・鉄欠乏性貧血・再生不良性貧血・白血病・血友病・悪性リンパ腫など	西
6	アレルギー性疾患・膠原病	アレルギー・気管支喘息・若年性特発性関節炎・全身性エリテマトーデス・リウマチ熱・川崎病・アレルギー性紫斑病など	西
7	感染症	ウイルス性疾患(麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘など)・細菌感染症・結核など	西
8	新生児疾患	新生児とその疾患	太田
9	新生児疾患	新生児とその疾患 ・染色体異常・先天性奇形	太田
10	小児の腎疾患	ネフローゼ・糸球体腎炎など	太田
11	内分泌・先天性代謝異常	1型糖尿病・肥満・先天性代謝異常など	太田
12	小児神経・筋疾患	脳性麻痺・てんかん・筋ジストロフィーなど	太田
13	身体障害	身体障害の定義・分類 脳性麻痺・肢体不自由の特徴と支援	木浪
14	重症心身障害	重症心身障害の特徴と支援	木浪
15	発達障害 まとめ	発達障害の特徴と支援 障害児(者)と家族のための法律と資源 講義評価、他	木浪

【評価方法】

原則として試験100%(定期試験および授業の冒頭に実施するミニテスト)により評価する。

【備考】

- 教科書 : 1. 畑江芳郎・小林良二・西 基:『STEP小児科』 第3版 海馬書房
 2. 西 基:『コ・メディカル用語事典』 第6版 海馬書房
 3. 二宮 啓子・今野 美紀:『小児看護学概論』 改訂第3版 南江堂

その他 : 講義日時・講義室などの詳細は初回のオリエンテーション時に説明する。

【学習の準備】

授業冒頭の数分に、その直近の授業の内容に係るミニテストを数回に渡り実施するので、よく復習しておくこと。ミニテスト開始後の受験は、理由の如何に関わらず認めないので、遅刻しないこと。ミニテスト実施日などの詳細は、初回のオリエンテーションで説明する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2 , 3

【実務経験】

西基(日本小児科学会認定小児科専門医)

太田亨(医師)

木浪智佳子(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験を生かし、小児医療・保健の現場の状況に即した情報と知識を伝える。